

平成25年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成25年4月9日(火) 19:20~21:15

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]11名:足立源樹(那覇市立病院)、垣花真紀子(沖縄県立宮古病院)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、笹良剛史(南部病院)、親泊美香(ちばなクリニック)、伊藤昌徳(ハートライフ病院)、喜納美津男(きなクリニック)、増田昌人(琉大病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、栗山登至(琉大病院)、島袋恭子(那覇市立病院)、福地 泉(アドベンチアメディカルセンター)

[欠席者]3名:棚原陽子(琉大病院)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、友利健彦(北部地区医師会病院)、

[陪席者]1名:安里千恵美、(琉大病院)、<報告事項>

今回も、Skypを用いた会議を行った。

1. 「平成24年度第4回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について
伊藤副部長より、平成24年度第4回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が報告された。
2. 緩和ケアフォローアップ研修会について
笹良部長より、資料2に基づき3月2日(土)に研修会を開催した報告が行われた。
プログラムは、「アドバンスケアプラン」と「死が近づいたとき」を取り入れた。今後も年1回は開催したい。
3. 今年度の緩和ケア研修会開催日程について
伊藤副部長より、資料3に基づき今年度の緩和ケア研修会日程が報告された。
中部病院は、A日程の開催日を検討中。豊見城中央病院は、開催を検討中。
4. 除痛率調査の研修会について
増田委員より、研究班で進めている国立がん研究センターの的場先生を中心とするメンバーを沖縄に招聘し、研修会を企画している。参加対象者は、除痛率調査を行っている施設の実務者(看護師、病棟師長等)
5. 在宅緩和ケア連携を患者家族に示せる在宅緩和ケアマップの作成について
事務局より、資料4に基づき在宅緩和ケアマップの進捗状況の報告を行った。
完成は4月中を予定としている。

6. 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用について

笹良部会長より、資料5に基づき、パスは、高知大学が作成したものを使用しながら沖縄版に改訂していく事が報告された。運用に関しては、5大がんのクリティカルパスを運用している地域ネットワーク部会に協力を依頼する事になった。4月17日（水）の地域ネットワーク部会に笹良部会長が陪席する。

<協議事項>

1. 平成25年度の部会委員及び部会長・副部会長選任について

前年度に引き続き、部会長・笹良先生、副部会長・伊藤先生の継続が承認された。部会委員については、オリーブ山病院は病院長へ推薦を依頼する。八重山病院は依光先生へ後任を確認する。追加の委員については、伊藤先生が一人検討する事になった。

2. 平成25年度部会事業計画と予算案について

資料7に基づき今年度の事業計画の確認を行った。事業の優先順位については、事務局でたたき台を作成し、メーリングリストで確認する事になった。事業計画のロジックモデルについて、現在の進捗状況を調べ、次回の部会で、修正の検討を行う。

3. 今後の緩和ケア研修会プログラムについて

資料8に基づき、次年度のプログラムについて検討を行った。基本プログラムは変えずに、+αについては、今後検討していく事となった。

4. 研修医に対する緩和ケア研修会受講必修化について

増田先生より、資料9に基づき緩和ケア研修会受講必修化について説明があった。部会では、必修化を提案する文書を作成する事になった。

5. 増田委員より、「おきなわがんサポートハンドブック第3版」が発行された報告があった。

来月、県より各施設へ配布予定となっている。